

宇宙を旅する

9月12日は「宇宙の日」です。これは、1992年9月12日に宇宙飛行士の毛利衛さんがスペースシャトル「エンデバー号」で宇宙へ飛び立ったことに由来しています。テレビや新聞などでも大きく取り上げられたので、当時のことを覚えている方も多いのではないのでしょうか。それから24年、世界各国が協力し建設された「国際宇宙ステーション」に若田光一さんや野口聡一さんが長期滞在するなど、壮大な宇宙の開発に日本人宇宙飛行士たちが携わってきました。宇宙に魅了され、その開発に力を注いできた彼らの足跡を知ると、宇宙への関心がぐっと増すかもしれません。

また、物語との出会いから、宇宙への興味が広がっていくこともありますよね。サンテグジュペリの『星の王子さま』では、小さな惑星で暮らしていた王子さまが旅に出て、不思議な大人たちの住む星々を巡ります。かつてこの本と出会い、「王子さまが住んでいた星はどんなところなのだろう」と想像を膨らませた方もいらっしゃるのではないのでしょうか。

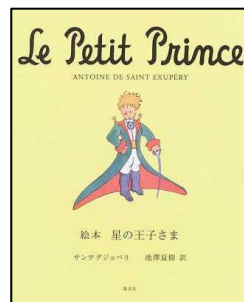
宇宙は、現実の世界ではもちろん、物語を通して多くの人々を魅了しています。宇宙旅行が気軽にできるようになるまでは、本の力を借りて、まだ見ぬ宇宙を旅してみたいはいかがでしょうか。



『We are 宇宙兄弟 宇宙飛行士の底力』

モーニング編集部/編
門倉 紫麻/編
講談社
2階一般 538.9ウ

毛利衛、山崎直子、野口聡一ら9人の日本人宇宙飛行士と、彼らを支える3人の宇宙開発の現場で働く人へのインタビューを収録。



『絵本星の王子さま』

サンテグジュペリ/著
池澤 夏樹/訳
集英社
児童 953サ

『星の王子さま』の文章を、ある程度まで短く簡略にした、子どもが自分で読める、親子で読める、声に出して読める、新しい形の絵本版『星の王子さま』。

新刊ピックアップ

『星座の神話と伝説がわかる本 天空に輝く星々に秘められた神々と英雄たちの物語』



宇宙科学研究倶楽部/編
学研プラス
2階一般 443.8セ

英雄と闘った不死身のモンスター・しし座、オリオンが怯えるヘラの刺客・さそり座、天界に君臨するゼウス・木星…。夜空に輝く星座に秘められた世界の神話・伝説、神々と英雄たちの物語を、エピソードや図版を交えて紹介する。

行事報告

よりよりライブラリー ～図書館をもっと楽しもう～



紙しおいやさんに
なっちゅおう

8月22日、「よりよりライブラリー ～図書館をもっと楽しもう！～」を開催しました。毎年「夏のおたのしみ会」としてたくさんの方に参加いただいているイベントですが、今年は「寄って寄って」という言葉と、長崎に馴染み深いお菓子「よりより^{マフアール}(麻花兒)」を掛け合わせ、幅広い年齢の方が集まって楽しめるよう「よりより」というタイトルになりました。

当日は学生ボランティアによるおはなし会や、長崎弁かるたを使ったかるた大会、長崎大学の学生による創作スポーツなど、様々なイベントを行いみなさんに楽しんでいただけたようです。世代間の交流も見られ、笑顔があふれるイベントとなりました。たくさんのご参加、ありがとうございました。

やってみゅーで！ 新旧長崎弁かるた



子どもから大人まで、市民のみなさんに広く「長崎」の文化に親んでもらえるよう長崎弁を使ったかるた大会。長崎市内だけでなく、五島や壱岐など県内の様々な方言を目でも耳でも楽しめる1時間となりました。『長崎弁かるた』『新長崎弁かるた』は、長崎市立図書館に所蔵がありますので、気になった方はぜひ一度遊んでみてくださいね！

『長崎弁かるた』を発行した
テレビ長崎様からいただいたポスト
カードを参加賞としてプレゼント。



合体スポーツ！

～いろんなスポーツや遊びを合体させて、
新しいものを作ってやってみよう～

長崎大学教育学部の学生によるワークショップ。講義等で得たことを実社会で活かすための実習として、企画から当日までイベントを盛り上げてくれました。

今回は、いろいろなスポーツなどを組み合わせた新しい遊びを子どもたちに考えてもらい、紙飛行機と玉入れを合体させた遊び、ボウリングとゴルフを合体させた遊びができました。

考えた後は実践！

試行錯誤してできた遊びを
みんなで楽しみました！



YA ボランティアおはなし会

図書館で YA ボランティアとして活動している中学生・高校生によるおはなし会。

いつもと違う雰囲気子どもたちはドキドキワクワク。絵本を通して、たくさん笑顔あふれる楽しい時間を過ごしていました。

図書館では毎月スタッフによるおはなし会も行っています。ぜひお越しください。



できあがったコンプリートブック。
ミニ知識もゲット！

おりがみでつくろう！学ぼう！

生物多様性の世界

折り紙を折りながら生物多様性の世界を楽しく学ぶコーナー。

ツシマヤマネコなど長崎に生息している生きものの中で数が減ってきている6種類を折り紙で作りました。子どもたちは生きもののお話を話しながら、熱心に折っていました。

これをきっかけに、
生きものや地球環境
への興味が広がる
ことを願っています。



図書館テレビ

毎月1回月曜日、午後6時20分～午後7時
NHK 総合「イブニング長崎」のコーナーで放送中！



『パラリンピックの楽しみ方
ルールから知られざる歴史まで』

藤田 紀昭/著
小学館
H780.6フ

図書館ラジオ

毎月第2金曜日午後2時、長崎シティFM (81.3 MHz)
「ウィーパラライブラリー」で放送中！



『夏を涼しく！
おばあちゃんの知恵袋
エアコンがなくても大丈夫』
おばあちゃんの知恵袋の会/著
大和出版
K590ナ

障害者スポーツ研究の第一人者によるパラリンピック観戦入門書。1964年東京パラリンピック開催から近年の状況、競技の種類、歴史的な選手、2020年東京大会の展望まで、知られざるパラリンピックの世界を案内する。

気化熱を利用して涼をとる「打ち水」、夏の寝具の決定版「寝ござ」、お米屋さんで手に入る石鹼「米ぬか」…。電気を使わず、ナチュラル素材で、気持ちよく夏をのり切るコツが満載。

ブック・リレー

「進む」

みなさんは人生の困難をどのように乗り越えていますか。小説『ラニーニャ』に出てくる主人公「あたし」は著者・伊藤比呂美の半生が元になっています。自身が抱える不安から脱け出すため子連れでカリフォルニアへ旅立つ彼女。時に迷い立ち止まりながらも前に進む姿に、人生何とかなるものだと思えてきます。主人公の気持ちが擬音や英語、記号や歌が入り乱れた言葉遊びのような文体で語られ、思わず声に出して読みたくなる、詩のような小説です。

さらに、個人の問題を社会的な問題に広げ、皆で前進することの大切さに気づかされるのは『ロックの英詞を読む』です。人種差別や戦争などの社会問題や政治への抗議がテーマの歌を、音楽に詳しいピーター・バラカンが解説しています。怒りや悲しみなどの強い思いから発せられた歌の数々は、私たちが抱えてきた問題の軌跡にもみえます。

個人の困難にしても、社会的な問題にしても、各々が声を上げ行動することで、私達も世界も進みたい道へ変えられる気がします。

(司書 大串 眞貴子)



『ラニーニャ』
伊藤 比呂美/著
岩波書店
B913.6イト



『ロックの英詞を読む 世界を変える歌』
ピーター・バラカン/著
集英社インターナショナル
2階一般 837.5バ

次回10月号ブック・リレーのテーマは
「深まる」

今月のイベント・展示

イベント

1日	木	あかちゃんおはなし会
3日	土	としょかん de 活版印刷 ～本木昌造からのおくりもの～
4日	日	大きい子向けおはなし会
8日	木	小さい子向けおはなし会
10日	土	定期上映会「怪盗グルーの月泥棒」(昼) ※吹替
16日	金	定期上映会「やさしい本泥棒」(夜) ※字幕
18日	日	大きい子向けおはなし会
21日	水	定期上映会「怪盗グルーの月泥棒」(夜) ※吹替
22日	木・祝	小さい子向けおはなし会
25日	日	医療的ケアが必要な在宅小児等への支援事業上映会・交流会 「うまれる -命と家族、絆の物語-」
26日	月	定期上映会「やさしい本泥棒」(昼) ※吹替
10月2日	日	大きい子向けおはなし会

※イベントの詳細は、館内のポスター・ちらし、またはホームページで確認できます。

展示

1階展示

- 1階特集 はじめの一步 ～世界で活躍するために～
- 1階ミニ 海賊小説
- 児童特集 おいしい秋たのしい秋げんきな秋み～つけた！
- 児童ミニ おじいちゃん おばあちゃん ありがとう
- YA特集 ひとりのできるもん！
- YA投稿 パン派？ごはん派？

2階展示

- 2階特集 世界で働く人を知る！
- 長崎県美術館連動展示
スタジオ設立 30周年記念 ピクサー展(～9/8)

【“ヒントの本棚” はじめました！】

日常に散らばっている様々なテーマをもとに本を収集・展示する「ヒントの本棚」が、図書館2階に新登場！

第一弾は“働く”って何？”。ビジネス書だけでなく小説や絵本などいろいろなジャンルの本を展示しています。

今後も身近なテーマを取り上げて展示していきます。

ぜひ一度ご覧ください。



期間：～9月30日(金)

場所：長崎市立図書館

2階データベース横壁面